

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ

2023年度事業報告

2023年4月1日～2024年3月31日

2024年3月31日

総 括

2023年事業報告の総括

1 概要

2020年度から続くコロナウイルス感染症も、5類に移行し活動自粛等の閉塞感からの脱却や、様々な活動再開の兆しがある。

リーグ事業としてはコロナ後の活動再開を見据え、コーディネーション力強化事業として自然環境活動分野の情報発信を実施した。「NPO等を活用した地域助け合い機能強化事業」の実施や他県のNPOセンターとの連携を活かしトヨタモビリティ基金の実証実験への参加、社会教育主事講習への協力など新たな事業も展開できた。

一方、衰弱したネットワーク等(地域や経済団体、災害時等)との再構築や新規のつながりづくりも重要である。ぽぽら事業の中で展開した、地域協働促進事業の交流会では、「地域」「企業」「NPO」のセクターを超え交流し、熱い議論が交わされた。

今後も積極的に現場に出向き分断されたつながりの再構築や、現状に合わせた新しいつながりの構築が求められる。

事業の評価等

事業名	評価	コメント	定款事業名
1-(1) 相談支援業務	△	前年と比べ相談件数が25%程度減。内容の傾向には大きな変化はなかった。市町市民活動センター(日光、下野)で実施した会計税務・労務の相談会には複数団体の申込があった。	③ 団体支援事業
1-(2) 施設運営・受付対応業務	○	提供される情報が増加傾向にある。情報収集のため雷管される利用者に向け、より多くの情報を提供しよう心がえたが、見やすさの点で、まだ工夫が必要である。	⑦ 社会貢献活動拠点の支援事業
1-(3) 情報収集発信業務	△	年度途中からFacebookの利用にエラーが発生し、適切な情報提供ができない状況となった。これに伴い今年度のFacebook閲覧者数は大幅な減少となった。	⑥ 情報発信事業
1-(4) ネットワーク運営業務	◎	県内市町支援センタースタッフとの情報交換会を定期的(1回/2か月)に開催し、顔の見える関係性の強化につとめ、来年度以降の進化に期待ができる。また宇都宮大学・シルバー大学校との連携事業も継続。	④ 協働コーディネート事業
1-(5) 社会貢献活動「見える化」促進業務	○	「ファン獲得」連続講座や出前講座、ぼ・ぼ・ら開設20周年記念の座談会等の実施により、社会貢献活動の見える化に一定の成果があった。一方、ICT活用やDX推進については、さらに強化が必要となった。	① 人材育成事業
1-(6) 地域協働促進業務	△	コロナ禍からの脱却を感じられる形での「NPO」「企業」「地域」を巻き込んだ交流会を実施できた。一方、デジタルブックは、想定していた数の取材を行えなかった。	④ 協働コーディネート事業
2-1 NPOを活用した地域コミュニティ助け合い機能強化事業	◎	大田原川西地区、日光市大沢地区で実施。期間終了で終わることなくその後も継続して関係性が続くなどの成果があった。小山市豊田地区の調査も予定通り行えた。	① 人材育成事業 ② 調査研究事業
2-2 コーディネート力強化事業	○	分野別取組みとして、とちぎ自然環境活動団体マガジンを4,000部作成し(調査・編集)、市民活動団体・教育機関・企業・関係機関・公民館などに配布し、市民活動プラットフォームの構築に努めた。	② 調査研究事業

1 とちぎボランティアNPOセンター 管理運営業務

1 センター運営の基本方針

■ 事業の方向性(県域センターとしての役割)

(1) 次代におけるNPOの担い手育成(エンパワメント)

- ・NPO活動の停滞を打破するため、きめ細かな相談や体系的な研修事業を通じてマネジメント人材を確保
- ・社会貢献活動への参加者が減少する現状の中、関係機関との連携協働による県民の参加促進

(2) 市町市民活動支援センターの機能向上支援

- ・市町市民活動支援センターは、地域密着の支援、場所を活用した支援、地域内協働などが得意
- ・本法人に蓄積されたノウハウや人的情報、支援情報などの提供。連携推進のための積極的訪問と事業の共同開催

(3) NPO支援体制の強化・協働の取組促進のための県域ネットワークの運営

- ・県域ネットワークの強化による多様な主体の協働推進、NPOや企業、地域コミュニティへの支援拡大

2 業務一覽

(1) 相談支援業務



(2) 施設運営・受付対応業務



(3) 情報収集・発信業務



(4) ネットワーク運営業務



(5) 社会貢献活動 「見える化」促進業務



(6) 地域協働促進業務



3 事業内容

(1) 相談支援業務

(1) 相談支援業務

目的	当法人では、これまで16年にわたる相談対応の実績を活かし、個別の相談対応や事業・運営に関わる相談(休眠法人等含む)などに対して、知識経験を有するスタッフが丁寧かつ適切に対応する。併せて、相談内容に応じて、積極的に地域に出向いて支援する。また、スタッフ間で相談事例のケース検討を行い、分析結果を公開することで、相談対応を強化する。																							
内容	<p>①ニーズに応じたきめ細かな相談・コーディネート 2023年度 4月1日から3月31日 相談件数:297件 (前年同期375件) 延べ相談時間: 149時間</p> <p>○組織区分内訳</p> <table border="1"><tr><td>・NPO法人</td><td>40.1%</td></tr><tr><td>・個人</td><td>20.5%</td></tr><tr><td>・中間支援・ボラセン</td><td>12.5%</td></tr><tr><td>・行政関係</td><td>8.4%</td></tr><tr><td>・ボランティア団体</td><td>6.4%</td></tr><tr><td>・その他</td><td>5.4%</td></tr><tr><td>・公益法人(一社・一財/公社・公財)</td><td>3.4%</td></tr><tr><td>・企業</td><td>1.3%</td></tr><tr><td>・社協</td><td>1.0%</td></tr><tr><td>・中間支援(その他)</td><td>0.7%</td></tr><tr><td>・教育機関</td><td>0.3%</td></tr></table> <p>組織区分別の相談件数ではNPO法人からの相談が一番多い(40.1%)。次いで20.5%が個人からの相談。個人からの相談は法人設立相談やボランティア参加の相談、あるいは傾聴対応の内容も含まれる。三番目に多いのが中間支援・ボラセンからの相談。年間を通じて組織区分比はほぼ一定になっている。</p>	・NPO法人	40.1%	・個人	20.5%	・中間支援・ボラセン	12.5%	・行政関係	8.4%	・ボランティア団体	6.4%	・その他	5.4%	・公益法人(一社・一財/公社・公財)	3.4%	・企業	1.3%	・社協	1.0%	・中間支援(その他)	0.7%	・教育機関	0.3%	<p>②相談やアドバイザー派遣事業等と連携したアウトリーチ支援、フォローアップ</p> <p>団体等の課題に対して、スタッフが現場に出向いたり、オンラインで相談に乗るなどの支援を行うとともに、その後の状況について適宜フォローアップを行った。</p> <p>ア 出前講座に併せた相談支援 佐野市市民活動センターでの出前講座終了後に、インボイス制度についての相談支援を行った。 日 時:2023年12月16日(土)10:00~12:00</p> <p>イ オンライン相談支援 事業承継に係る相談に対し、相談者に来所いただくことなく、オンラインZOOMにより相談支援を行った。 日 時:2024年3月9日(土)10:00~10:30 内 容:承継事業の内容確認など</p> <p>ウ 特定非営利活動法人ふれあいへのアウトリーチ支援 NPO等へのアドバイザー派遣の事前打合せを行った。 日 時:2023年5月10日(水)10:30~11:00 会 場:栃木ひまわり法律事務所(宇都宮市) 出席者:山下雄大弁護士、ぽ・ぽ・ら2名 内 容:法人後見事業に関する検討状況の説明、この取組への助言等の依頼</p>
・NPO法人	40.1%																							
・個人	20.5%																							
・中間支援・ボラセン	12.5%																							
・行政関係	8.4%																							
・ボランティア団体	6.4%																							
・その他	5.4%																							
・公益法人(一社・一財/公社・公財)	3.4%																							
・企業	1.3%																							
・社協	1.0%																							
・中間支援(その他)	0.7%																							
・教育機関	0.3%																							

(1) 相談支援業務

①ニーズに応じたきめ細かな相談・コーディネート(オンライン相談も積極的に活用)

2023年度 4月1日～3月31日 相談区分別 相談件数一覧

組織区分	個人	ボランティア団体	公益法人(一社・一財/公社・公財)	NPO法人	企業	行政関係	教育機関	中間支援・ボラセン	中間支援(その他)	社協	その他	合計(相談種別)
相談種別	61	19	10	119	4	25	1	37	2	3	16	297
ボランティアしたい	6			1	1							8
ボランティア求む	2	1			2			1		1	2	9
ボランティアその他	1		1	1			1	2			3	9
法人設立一般	13	2		2	1	5		12			3	38
NPO法人報告書関連	1		1	8		3						13
会計・税務			2	9		3		6				20
組織運営	3	2		33		2		2			1	43
事業活動	1	3	1	26		1		1	2			35
休眠・解散・合併等				8		1		2				11
認定NPO				4								4
NPO法人団体その他				6								6
情報照会	8	3	4	6		6		10		2	1	40
資金調達		1		6		1					1	9
施設・サービス	4	4	1	2		1					3	15
広報	1	1		1		1						4
傾聴	9	1		4								14
ICT・DX	3					1						4
その他	9	1		2				1			2	15

(1) 相談支援業務

③テーマ別相談会

市町市民活動支援センターや関東信越税理士会栃木県支部連合会、とちぎ働き方改革推進支援センターとの共催により、会計や労務の相談会を実施した。

ア 会計税務及び労務相談会in日光

日時:2023年6月28日(水)13:30～16:15

会場:日光市民活動支援センター

専門家:鈴木圭吾税理士

時田秀和社会保険労務士

相談団体:【会計税務】

NPO法人夢くらぶ国分寺

WALK ON CLOUDS BIGBAND

【労務】

NPO法人サポートつくし

相談内容:【会計税務】

①インボイス制度

②演奏指導者への報酬

③寄付や譲渡された楽器の計上

【労務】

①労災保険雇用保険

②アルバイトとの契約のあり方

結果

消費税の免税事業者の要件、課税事業者になった場合の納税額の見込みについて、また簡易課税を選択した場合とそれ以外の場合に応じて説明。

就業規則の見直しについて「働き方改革推進支援センター」の事業所訪問(無料)の範囲内でのアドバイスは可能とわかった。必要に応じて相談者に案内することとした。

内容

イ 会計税務及び労務相談会in下野

日時:2023年9月15日(金)13:30～16:15

会場:下野市市民活動センター

専門家:牧野安浩税理士

坂本佳奈美社会保険労務士

相談団体:【会計税務】

NPO法人夢くらぶ国分寺

NPO法人元気ワイワイ南河内

下野PC愛好会

【労務】

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ

NPO法人夢くらぶ国分寺

相談内容:【会計税務】

①インボイス制度

②諸費用の扱い方

【労務】

①就業規則の見直し

②社会保険等労務手続き

結果

会計税務相談会については、募集開始後すぐ枠が埋まった。インボイス制度開始直前(10月1日)のためと思われる。会場の下野市市民活動センタースタッフが、オブザーバーとして第1第2団体の相談に同席された。

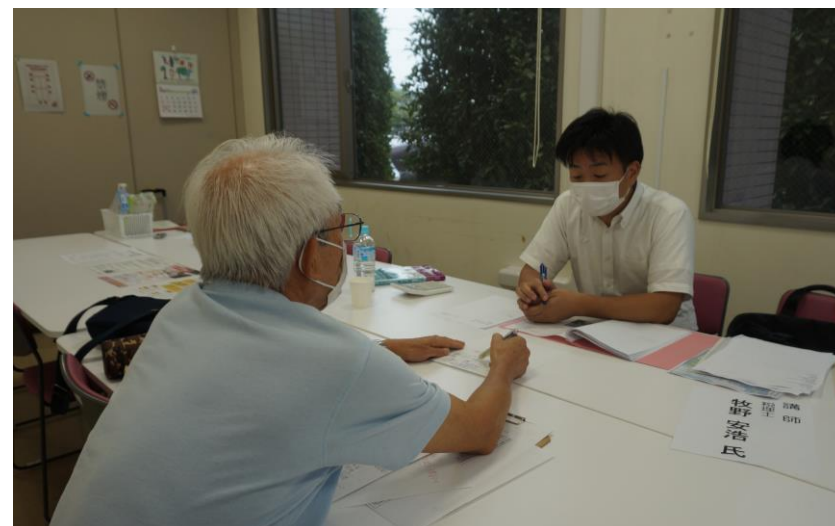
NPO法人がバスを利用した事業を実施する場合、旅行業等関連法に抵触しないよう実施する必要がある。バス利用に関しては慎重に検討のうえ実施されたい旨伝えた。

内容

(1) 相談支援業務



会計税務及び労務相談会in日光



会計税務及び労務相談会in下野

(1) 相談支援業務

ウ NPOや企業のための労務相談日①

日時:2023年11月30日(木)13:30 ~16:15

会場:ぽ・ぽ・ら

※申込がなかったため、中止した。

エ NPOや企業のための労務相談日②

日時:2024年1月31日(水)13:30 ~16:15

会場:ぽ・ぽ・ら

専門家:社会保険労務士

相談団体:認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ

相談内容:社員の休職と復職の対応について



内容

結果

・職員を雇用している社会貢献団体が限られるため、労務相談に参加する団体は少ないが、多くの職員を雇用する団体では、日ごろから労務について様々な悩みを抱えている。具体的な質問事項について、社会保険労務士から適切な助言を得られたことは有意義だった。

・申込を増やす工夫として、2回目の労務相談日には、団体や企業の相談に加えて、雇用される側の労働者も対象に加えたが、労働者の参加は得られなかった。

・労務相談日については企業からの相談にも対応可能なため、来年度は経済団体の協力を得て、企業への広報を強化していきたい。

内容

(1) 相談支援業務

内容

④「相談強化月間」の実施

④-1「事業報告・総会準備相談強化月間」

- ・期間:2023年3~5月
 - ・NPO法人の総会時期に合わせ、事業報告書作成や総会後の事務手続きの疑問点などについて、集中的に相談に応じた。
 - ・相談件数:7件
- ＜主な相談内容＞
所轄庁提出書類について
事業報告書の科目の分類について
総会の定足数となる正会員の考え方について 等

④-2 ボランティア活動推奨キャンペーンの実施

- 実施:2023年8月
内容:キャンペーンちらしの作成
ぽ・ぽら館内掲示、HP・メールマガジンで広報



内容

④-3「事業報告・総会準備相談強化月間」

- ・期間:2024年3月~5月
- ・多くのNPOが決算期を迎える3月末から総会時期に合わせ、決算・事業報告及び総会に関わる事項の疑問点に対応する。

⑤相談集計分析、相談対応力の向上

- ・相談集計分析(毎月)
- ・スタッフ間でのケース会議の実施
- ・相談強化月間に合わせたスタッフ研修
- ・内部管理システムを活用した相談事例の共有

⑥協働の理解促進を図る講座等への講師派遣(出前講座)

- ・地域、学校等への講師派遣
 - ・再掲:出前講座
- ※詳細は(5)社会貢献活動「見える化」促進業務「出前講座」に掲載

(1) 相談支援業務

⑦ スタッフのスキルアップ(研修・会議等参加)

No	月 日	内 容	主催者
1	4/6(木)	第8回NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
2	4/21(金)	令和5年度市町NPO・協働担当者会議	栃木県県民協働推進課
3	5/22(月)	コミュニティ協会研修会「令和の時代の地域づくり」	栃木県コミュニティ協会
4	6/1(木)	第9回NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
5	6/16(金)	「一人ひとりを大事にし、だれも取り残さない被災者支援制度を求める」緊急院内集会	3.11から未来の災害復興制度を提案する会
6	6/27(火)	災害ボランティアネットワーク会議	栃木県社会福祉協議会
7	7/2(日)	ボランティアコーディネーション力3級検定	日本ボランティアコーディネーター協会
8	8/3(木)	栃木県誕生150年記念講演会 「地域づくりに若者が参加するには？」	栃木県コミュニティ協会
9	8/4(金)	NPO会計サポート・コミュニティ ～あるべき会計サポートを語り合おう～	NPO会計基準協議会
10	8/22(火)	農村魅力発見発信若者レポート養成研修	
11	8/27(日)	会計力検定	(一社)NPお会計力検定協会
12	8/31(木)	NPOと行政の対話フォーラム	日本NPOセンター
13	10/5(木)	第11回 NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等

(1)相談支援業務

⑦スタッフのスキルアップ(研修・会議等参加)

No	月 日	内 容	主催者
14	10/6(金)	NPO会計サポート・コミュニティ ~あるべき会計サポートを語り合おう~	NPO会計基準協議会
15	10/22(日)	キッズネイチャーフェス	
16	11/8(水)	令和5(2023)年度「輝く“とちぎ”づくり表彰」表彰式	栃木県県民協働推進課
17	11/14(火)	NPO法人会計サポートに関する情報交換会	NPO会計基準協議会
18	11/14(火)	NPO法人所轄庁との意見交換会	内閣府 ブロック会議
19	11/27(月)	とちぎ子ども地域食堂情報交換会	栃木県社会福祉協議会
20	12/1(金)	NPO法施行25周年記念フォーラム	NPO法人セイエン、日本NPOセンター
21	12/2(土)	市民セクター全国会議2023	日本NPOセンター
22	12/4(月)	NPO事務力カンファレンス認定講師研修会	NPO事務支援カンファレンス
23	12/7(木)	NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
24	12/7(木)	まちあるき研修会つがの里	栃木県コミュニティ協会
25	12/14(木)	地域研修会	栃木県生活学校連絡協議会 栃木県コミュニティ協会
26	12/14(木)	市民活動スキルアップ研修 第4回 「会計サポートのコツ」	認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ

(1) 相談支援業務

⑦ スタッフのスキルアップ(研修・会議等参加)

No	月 日	内 容	主催者
27	12/20(水)	災害ボランティアセミナー	栃木県県民協働推進課
28	1/11(木)	災害ボランティアセンター運営コーディネーター研修 中級	栃木県社会福祉協議会
29	1/13(土) 2/10(土)	コミュニティカレッジ	栃木県コミュニティ協会
30	1/23(火)	市民活動支援組織スキルアップ研修「基礎編」第6回	認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ
31	2/1(木)	NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
32	2/6(火)	NPO法の法律基準における受取寄付金とその返礼に関する説明会	NPO会計基準協議会 内閣府
33	2/16(金)	栃木県社会貢献活動促進懇談会	栃木県県民協働推進課
34	2/16(金) 2/20(火)	市民活動支援組織スキルアップ研修「NPO法人実務編」	認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ
35	3/12(火)	地域共生社会シンポジウム	栃木県社会福祉協議会

(2) 施設運営・受付対応業務

(2) 施設運営・受付対応業務

目的	来館者が、快適かつ安全安心に施設設備を利用できるように努め、社会貢献活動拠点機能の充実を図る。	
内容	<p>①施設・機器・物品等の管理</p> <ul style="list-style-type: none">・館内の各種サイン類や展示レイアウト等を利用者目線で見直し、更新する。・各種利用受付、鍵の貸出し等・利用団体情報の登録変更・削除等・業務に係る書類は保存年限を定め、簿冊として鍵付きロッカーで保存する。・メールボックス・ロッカーの管理(事務所機能の提供)・図書や各種資料、書類(定款・事業報告書含む)の整理・Wi-Fiの管理・市町市民活動支援センターや中間支援機関の参考になる運営を目指す。(スタッフ会議のテーマとして随時検証) <p>②施設利用月次集計・分析 (3月31日現在)</p> <p>月次の利用状況を取りまとめ、年度ごとに集計分析及び改善を行い、県と協議の上、サービス向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none">・来館者数 13,162名 (前年同期 13,713名)・研修室利用件数 479件 (前年同期 437件)・作業室(印刷機)利用件数 74件 (前年同期 71件)・センター利用登録団体 412団体 (前年同期 412件)・メールボックス利用登録数 25件 (前年同期 24件)・ロッカー利用登録数 36件 (前年同期 37件)	<p style="text-align: center;">内容</p> <p>③安全管理及び省エネ化</p> <ul style="list-style-type: none">・防災訓練、消火器操作訓練の実施・情報管理責任者を置くとともに、職員が使用するPCにパスワードを個別に設定し、定期的な変更をもって不正アクセスを防止する。・研修室等のエアコンなど、適正な室温での利用の推奨・館内照明のLED化を行った。(2024年1~2月) <p>④利用者の利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・館内への「ご意見箱」の設置やアンケートにより、利用者の率直な意見を収集し、サービス向上に努める。・館外掲示板の活用 <p>⑤新型コロナウイルス感染症について</p> <p>令和5年5月8日より「5類感染症」に移行したことに伴い、閉館時の研修室等除菌作業は取りやめた。</p> <p>利用者には引き続き「除菌セット」を渡し、使用は利用者の意思に任せる。</p>

(2) 施設運営・受付対応業務



研修室Aでの青少年ボランティア研修会

(3) 情報収集・発信業務

(3) 情報収集・発信業務

<p>目的</p>	<p>県内NPO等の活動や全国の先進事例、行政、企業等による支援情報等を収集し、ホームページやSNS、情報誌など、発信に適した媒体を活用し、積極的に発信を行うことにより、団体の活動を支援するとともに、社会貢献活動や協働に対する県民の理解を深め、共感を得る。</p>																									
<p>内容</p>	<p>①ネットワークを生かした情報収集 ・社会貢献活動、協働、企業のCSR活動、SDGs等に関する情報の収集</p> <p>②多様なツールによる情報発信 ・ホームページ・SNSの充実(ブログ、フェイスブック等) ・フォロワー、「いいね」を増やす取組 ・ホームページ上で情報誌バックナンバーを公開 37号まで掲載済み ・貸出図書 7冊</p> <p>■主な情報発信先 NPO法人、ぽぽら登録団体、県内市町センター 地域協働推進員、社会福祉協議会、経済団体 青年会議所、図書館、公民館、高校、大学、市町担当 課、県庁各課、出先機関、他県NPO担当課、県外県域 市民活動支援センター、マスコミ等</p> <p style="text-align: right;">前年度との比較</p> <table border="1" data-bbox="182 1143 944 1400"> <thead> <tr> <th>項目 \ 年度</th> <th>2023年度</th> <th>2022年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HP閲覧数</td> <td>75,770</td> <td>81,678</td> <td>92.8%</td> </tr> <tr> <td>ブログ閲覧数</td> <td>57,789</td> <td>67,001</td> <td>86.3%</td> </tr> <tr> <td>Facebook閲覧数</td> <td>6,433</td> <td>22,314</td> <td>28.8%</td> </tr> </tbody> </table>	項目 \ 年度	2023年度	2022年度	比較	HP閲覧数	75,770	81,678	92.8%	ブログ閲覧数	57,789	67,001	86.3%	Facebook閲覧数	6,433	22,314	28.8%	<p>※Facebook閲覧数の減少について 写真の投稿にエラーが発生し、積極的な活用ができない状態が続いている。</p> <p><Facebookで反応の良かった記事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 5日 2023年度ぽ・ぽら新体制スタート ・4月29日 佐野市市民活動センターここねっとで事業報告・活動計算書の作り方講座、安藤コーディネーター ・5月2日 6/30 ボランティア活動に参加してみよう！「ぼらんていあカフェ」～新聞エコバッグづくり～のお知らせ ・7月8日 輝く“とちぎ”づくり表彰候補取組の募集 ・1月10日 能登半島地震募金への協力をお願い ・1月13日 能登半島地震・ボランティア活動支援金チャリティーイベント <p>○メールマガジンの配信 月2回発行 528号から551号</p> <table border="1" data-bbox="1170 1046 1943 1222"> <thead> <tr> <th>項目 \ 年度</th> <th>2023年度 3月</th> <th>2022年度 3月</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>843</td> <td>833</td> <td>101.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目 \ 年度	2023年度 3月	2022年度 3月	比較	登録者数	843	833	101.2%
項目 \ 年度	2023年度	2022年度	比較																							
HP閲覧数	75,770	81,678	92.8%																							
ブログ閲覧数	57,789	67,001	86.3%																							
Facebook閲覧数	6,433	22,314	28.8%																							
項目 \ 年度	2023年度 3月	2022年度 3月	比較																							
登録者数	843	833	101.2%																							

(3) 情報収集・発信業務

内容

○情報誌の編集発行(3,000部)

使送 155団体 598部 郵送 1,409団体 2,112部

ア【No.36夏号】2023年6月発行

○特集:社会貢献活動の情報化を進めよう!

2022年12月に実施した栃木県内NPO等の情報化支援に係るアンケート調査結果から、NPO等の情報化を進めていくために必要なことを考える。

- ・コロナ禍の影響・今後力を入れたい取組
- ・どんな媒体で情報発信しているか
- ・インターネットの主な用途
- ・求める情報支援

○『協働ちょっといい話』

寄稿: 栃木県社会貢献活動促進懇談会会長
宇都宮大学地域デザイン科学部
石井大一郎准教授

概要:

高校生の「つぶやき」が生み出す新しい協働

○『キラっとちぎ人』

取材先: NPO法人うつのみや百年花火

副会長 橋本太士郎氏

サブテーマ: 「百年先の花火大会を目指して」

取材先: 学生団体Rainbow

代表 栗原杏奈氏 副部長 松川柚穂氏

サブテーマ: 「虹の架け橋がつなぐボランティア活動」

内容

○『ぽぽら広場』

サブテーマ①: 「NPO法人ウェブ報告システム始まりました！」

内閣府NPO法人ポータルサイトから事業報告等の各種手続きがオンラインでできるように

サブテーマ②: 「C7サミット開催」

広島県広島市でG7主要国首脳会議開催に合わせて市民団体によるC7サミット開催。

サブテーマ③: 「栃木県誕生150年記念 県民の日イベント」

6月10日県庁舎等でイベント開催とその様子について

○『裏表紙』

①: 「ぽ・ぽ・ら新センター長着任のあいさつ」

②: 「輝くとちぎの人づくり推進基金」

③: 「栃木県誕生150年記念サイト」



(3) 情報収集・発信業務

内容

イ【No.37冬号】 2024年1月発行

○特集:ぽ・ぽ・ら20周年

ふりかえり年表

ボランティアとNPOの展望を語る座談会開催報告

○『キラっとちぎ人』

取材先:福聚会 代表 青田賢之氏

サブテーマ「平成11年県内NPO法人第1号「地域の助け合いの輪を広げる」

取材先:足尾に緑を育てる会 会長 齊藤正三氏

サブテーマ「環境を学ぶ地への転換」

取材先:ゆいの里 飯島恵子氏

サブテーマ「NPO法人ゆいの里からしもつかれいどへ」

○『ぽぼら広場』

令和5(2023)年度(第7回)輝く“とちぎ”づくり表彰

最優秀賞「地域の子どもに家庭でも学校でもない第三の居場所を」宮っこ支援センターSAKURa他

優秀賞『誰ひとり孤立させないところを繋ぐ「真ごころカード」活動』県立真岡北陵高等学校生活福祉部他

「残された里山林を再生する協働・連携による環境保全活動」ふれあいの森伊勢崎

『「ヒト」と「モノ」が災害支援に繋がるネットワークづくり』ゆめ評定他

○『裏表紙』

①「輝くとちぎの人づくり推進基金のご案内」

②「12/1,2 NPO法25周年記念フォーラム&市民セクター全国会議2023に参加しました」



ぽ・ぽ・らマガジン vol.37 2024年1月発行 栃木県ボランティアNPOセンター(ぽ・ぽ・ら)

(3) 情報収集・発信業務

内容

○イベント等への参加による広報・宣伝活動

- ・シルバー大学校マッチング授業での広報・宣伝
 - 9月 8日(金)南校 ぽ・ぽ・ら事業の紹介(67名)
 - 9月13日(水)中央校 ぽ・ぽ・ら事業の紹介(121名)
 - 参加団体の紹介(3団体)
 - NPO 足尾に緑を育てる会
 - NPO 古賀志山を守ろう会
 - NPO とちぎナルク
- 9月14日(木)北校 ぽ・ぽ・ら事業の紹介(85名)
- 参加団体の紹介(1団体)
 - 高原山を愛する会

○宇都宮大学コラボレーションフェアの広報協力と

ぽ・ぽ・ら事業の紹介

- 9月22日(金) マロニエプラザにて開催
(出展300団体以上、参加2,000名以上)
- パネル展示と解説を行った。中間支援では、ぽ・ぽ・ら、まちぴあ、さくらいふ、おやまーるが出展。

○NPOと行政の対話フォーラム'23 (8月31日かながわ県民センター)への参加

○とちぎコープフェスタでの広報・宣伝

- 11月 4日(土) マロニエプラザ(参加8000名以上)



内容

- 地下横断歩道「県政広報コーナー」への
“県民協働推進月間(11月)の周知”展示協力
11月10日(金)～24日(金) 県民協働推進課

- 令和5年第7回輝くとちぎづくり表彰式(11月8日)への出席
情報誌37号に記事を掲載。

- 12月 寄付月間
寄付月間広報ポスターの館内掲示

○情報発信先の拡充

- ・(公社)栃木県経済同友会及びに対して、イベント等の周知協力を依頼した。
- ・栃木県コミュニティ協会に対して、チラシの発送等の協力を依頼した。

- NPO法25周年記念フォーラム(12月1日、星陵会館)
市民セクター全国会議(12月2日、聖心女子大学4号館聖心グローバルプラザ) への参加
情報誌37号に記事を掲載。

(4) ネットワーク運営業務

(4) ネットワーク運営業務

目的	地域における社会貢献活動や協働の取組を支援するため、県域センターとして、市町市民活動支援センターや民間の中間支援組織等とのネットワークの強化を図る。また、NPOやボランティア、企業、行政、研究教育機関、地縁団体等との間の情報交換や事業協力を推進する。	
	I 市町市民活動支援センターとの連携 1 ネットワーク会議の開催 市町市民活動支援センターを中心に、民間の中間支援組織、県社会福祉協議会、県総合教育センター等によるネットワーク会議を実施し、各センター間の課題の共有や意見交換を通して、相互交流・事業協力等の推進を図る。 ・2023年5月19日(金) 開催 主に昨年度トピックスと今年度の課題を共有。 2 スタッフ情報交換会の開催 上記ネットワーク会議メンバーのオンラインによる会議。各センタースタッフ間で共に学び合うことで、情報共有やスタッフ間の連携を図る。 ・第1回2023年8月25日(金)(ZOOM) 18名 テーマ 教育機関と市民活動センターの連携について ※7月28日(金)12名 とちぎ市民活動推進センター スピンオフ企画: 高校生の市民活動支援について 栃木、小山、鹿沼、真岡、ぽ・ぽ・ら、他	・第2回2023年10月20日(金)(ZOOM) 11名 テーマ SNSの活用について ・第3回2023年12月 8日(金)(ZOOM) 12名 テーマ 各センター主催イベントについて ・第4回2024年 1月26日(金)(ZOOM) 17名 テーマ センター質疑、能登半島地震災害対応について 市町センターの対応についてはgoogleスプレッドシートを活用して情報共有を行った。 ・第5回2024年 3月15日(金)(ZOOM) 17名 テーマ 今年度のふりかえりと次年度情報交換会について 3 定期訪問・事業の共同開催 ① 定期訪問 県内14か所の市民活動支援センター中、9か所を訪問し地域課題の把握、取組などについて意見交換し、連携強化した。 2023年5月9日(火) 栃木市民活動推進センターくらら、 下野市市民活動センター 2023年5月11日(木) 那須塩原市市民活動センター さくら市活動支援センターさくらいふ 2023年5月12日(金) 足利市民活動センター 2023年5月16日(火) 日光市民活動支援センター かぬま市民活動広場ふらっと 2023年5月17日(水) 小山市市民活動センターおやま〜る 真岡市市民活動推進センターコラボーレもおか

(4) ネットワーク運営業務

②. 事業の共同開催(再掲)

ア 会計税務および労務専門家相談会in日光

日 時:2023年6月28日(水)13:30~16:30

共 催:日光市民活動支援センター

イ 会計税務および労務専門家相談会in下野

日 時:2023年9月15日(金)13:30~16:30

共 催:下野市市民活動センター

ウ 助成金合同説明会

日 時:2023年10月4日(水)13:00~16:30

共 催:宇都宮市まちづくりセンターまちぴあ

協 力:さくら市市民活動センター

真岡市市民活動推進センター

小山市市民活動センター

エ ゆるつな交流サロンin足利

日 時:2024年2月18日(日)13:30~16:00

共 催:足利市民活動センター

栃木県、足利市

内
容

4 新設センター、未設置市町へのアウトリーチ支援

未設置市町について、情報収集、現状分析等を行い、必要な支援を提案し、実施する。

<未設置市町>

矢板市、那須烏山市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

日 時:2023年6月22日(木)13:30~14:30

会 場:とちぎボランティアNPOセンター

参加者:塩谷町企画調整課風見氏、塩谷町地域おこし協力隊小久保氏、小松原氏

内容:中間支援機能の紹介、地域おこし協力隊に期待される地域のハブ機能等について意見交換を行った。

内
容

(4) ネットワーク運営業務

II 関係機関との連携

1 公民館、社会福祉協議会との連携

① 栃木県社会福祉協議会との共同事業の実施

ボランティアルーム(栃木県ボランティア活動振興センター)との共催により、「ぼらんていあカフェ」として「新聞エコバッグづくり」を実施し、ボランティア活動参加へのきっかけづくりとSDGを考える機会とした。エコバッグづくりの体験と併せて寄付募集を行った。集まったエコバッグは栃木県社会福祉協議会を通じて県内子ども食堂等に寄付した。

ア 事前打合せ

- ・日 時:2023年4月6日(木)11:00~12:00
- ・会 場:ボランティアルーム
- ・参加者:県社協3名、ボランティアルーム2名、ぽぽら2名

イ 事前打合せと試作

- ・日 時:2023年6月23日(金)10:00~12:00
- ・会 場:ボランティアルーム
- ・参加者:ボランティアルーム2名、ぽぽら2名

ウ 第1回新聞エコバッグづくり

- ・日 時:2023年6月30日(金)10:30~12:00
- ・会 場:ボランティアルーム
- ・参加者:18名(事務局含む)

内容

エ ラジオでの事業広報

- ・日 時:2023年10月17日(火)11:00~11:50
- ・会 場:宇都宮コミュニティFMミヤラジ
- ・参加者:県社協2名、ボランティアルーム2名、ぽ・ぽ・ら1名
- ・内 容:ボランティアルームの活動紹介に併せて、共同事業のPRを行った。

オ 第2回新聞エコバッグづくり

- ・日 時:2023年11月17日(金)10:30~12:00
- ・会 場:ボランティアルーム
- ・参加者:18名(事務局含む)
- カ 今年度の振り返り及び次年度事業計画検討

・日 時:2023年12月8日(金)10:30~12:00

- ・会 場:ボランティアルーム
- ・参加者:県社協2名、ボランティアルーム2名、ぽ・ぽ・ら1名

キ 第3回新聞エコバッグづくり

- ・日 時:2024年2月9日(金)10:30~12:00
- ・会 場:ぽぽら3階 研修室A
- ・参加者:25名(事務局含む)

<結果>

- ・事業の共同企画・運営により、県社協との連携がより深まった。
- ・新聞掲載により、参加者層の拡大に効果があった。
- ・本事業への参加をきっかけとして、ボランティア入門の出前講座を依頼されることにつながった。

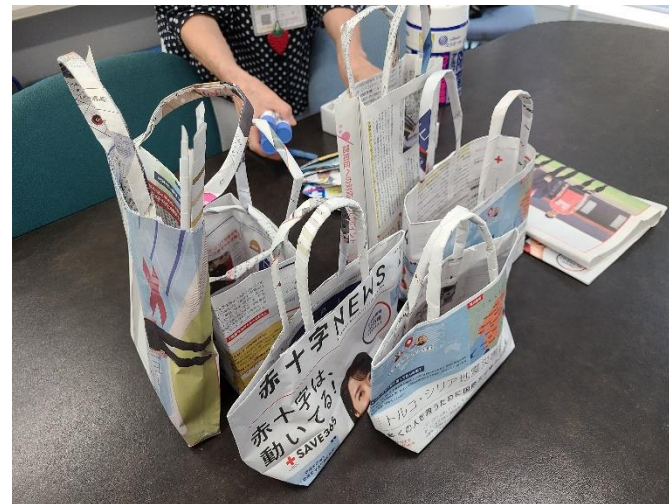
内容

(4) ネットワーク運営業務

2024/6/30 第1回簡単エコバッグ作り



エコバッグは子ども食堂などに寄付



2024/11/17 第2回簡単エコバッグ作り



2024/2/9 第3回簡単エコバッグ作り



(4) ネットワーク運営業務

2 他部局や県内大学、シルバー大学校等との連携

① 県内大学との連携

ア 社会教育主事講習連携事業(再掲)

文部科学省主催、宇都宮大学実施の社会教育主事講習(7月24日(月)～(8月18日(金))のうち8月9日、10日に実施した、自治会役員への聞き取り調査に係る、市町センターへの協力依頼から、当日の実施に係る部分を、大学・市町センター等と協力して実施した。

(宇都宮大学から、NPO法人とちぎ協働デザインリーグあてに協力依頼があったもの)

日時:2023年8月9日(水)・10日(木)8:40～17:30

会場:宇都宮大学及び市町センター

協力センター:足利市市民活動センター、日光市市民活動センター、真岡市市民活動推進センター、栃木市市民活動推進センター、さくら市市民活動センター、那須塩原市市民活動センター、他協力者2名

イ 宇都宮大学コラボレーションフェアの広報協力とぽ・ぼ・ら事業の紹介(再掲)

2023年9月22日(金) マロニエプラザにて開催
パネル展示 環境マガジンについて

内容

② 栃木県シルバー大学校との連携

ア シルバー大学校「市民活動と繋がろう」講座

「市民活動と繋がろう講座」では市町市民活動センターを巻き込んでのネットワークを強化できた。

・2023年4月27日(木):中央校 参加者:16名

ボランティアを始めよう講座

NASAゲーム

団体紹介(3団体)

小倉工房、足尾に緑を育てる会、とちぎナルク

・2024年1月18日(木):南校 参加者:23名

市民活動と繋がろう講座

NASAゲーム

団体紹介(5団体)

くらら、おやまーる、ネットワークとちぎ、

音訳ボランティア郭公の会、こころの窓

・2024年2月13日(火):中央校 火曜コース

参加者:19名

講座内容同上

団体紹介(4団体)

まちぴあ、愉快的われらの会、足尾に緑を育てる

会、ナルク栃木「とちの実会」

・2024年3月22日(金)中央校 金曜コース

参加者:14名

講座内容同上

団体紹介(4団体)

まちぴあ、愉快的われらの会、足尾に緑を育てる

会、ナルク栃木「とちの実会」

内容

(4) ネットワーク運営業務

<今後の予定>

2024年8月21日(水):北校

2024年1月18日(木) 南校



内容

2024年2月13日(火) 中央校



イ シルバー大学校の社会貢献活動マッチング事業
参画

2023年9月 8日(金):南校

2023年9月13日(水):中央校

2023年9月14日(木):北校



内容



(4) ネットワーク運営業務

3 災害ボランティア活動に係る連携促進

一般社団法人日本カーシェアリング協会との打ち合わせ

日時: 2023年4月18日 15:00~16:00

会場: とちぎボランティアNPOセンター

参加者: 一般社団法人日本カーシェアリング協会

代表理事 吉澤 武彦 氏

星 雅之 氏

栃木県県民協働推進課 佐藤 圭汰 氏

とちぎボランティアNPOセンター 町田 英俊

内容: センターの利用方法及び日常時、発災時の協力について

② CRT60周年ラジオスペシャル

「過去の災害から学ぶ～共生社会への道～」

放送日: 2023年5月28日(日) 15:00~16:00

内容: 災害時の取組などを幅広く県民に伝え、被害を最小限度にとどめ、速やかな復旧をはかるためにはどうすればよいか、防災意識を高める機会とする特別番組を制作・放送されました。

③ 「一人ひとりを大事にし、だれも取り残さない被災者支援制度を求める」緊急院内集会

日時: 2023年6月16日(金) 9:00~10:00

会場: 衆議院第2議員会館(ZOOM中継)

主催: 3.11から未来の災害復興制度を提案する会

内容:

被災者支援制度の「これまで」と「これから」
菅野 拓(大阪公立大学准教授/311変える会)
災害救助法・社会保障関係法の改正がある中、例えば避難所の様子は85年前から変わらない。
「こんな思いをするなら、あの時死んでいればよかった」という言葉が避難者から出ない制度設計を提案。
提案内容の報告と質疑応答があった。

④ 令和5年度災害ボランティアネットワーク会議

日時: 2023年6月27日(火) 13:30~16:30

主催: 栃木県社会福祉協議会

会場: とちぎ福祉プラザ 3階 福祉研修室 AB

内容: 平時からの顔の見える関係づくりを目的とする。災害の同時多発を想定し、地域協働型ボランティアセンター、地域住民とボランティアによる運営を検討。令和5年度版災害ボランティア相互支援台帳を作成。

⑤ 令和5年7月豪雨災害報告会

日時: 2023年7月26日(水)

会場: オンライン

主催: 社会福祉法人中央共同募金会

内容:

支援P、ボラサポの説明
佐賀県、福岡県、秋田県の報告(ボラセン・NPO等から)
観光庁からのボラバスに係る通達の説明があった。

内容

内容

(4) ネットワーク運営業務

⑥防災士との対話

-リカレント教育プログラム開発に向けた作戦会議-

日時:2023年9月1日(金)15:30~17:30

会場:宇都宮大学陽東キャンパス11号館1階

主催:宇都宮大学地域デザインセンター防災部門

内容:

NPO法人栃木県防災士会による活動紹介

宇都宮大学が実施するリカレント教育プログラム開発に向けた情報提供

意見交換:防災士取得後の活動につながる学びのテーマや学び方

防災士取得のプログラム内のHUG等を地域に根差し他大学との連携で地域版のプログラム開発などの意見が出た。

内容

⑦台風13号に係る災害ボランティア活動

日時:2023年9月24日(日)

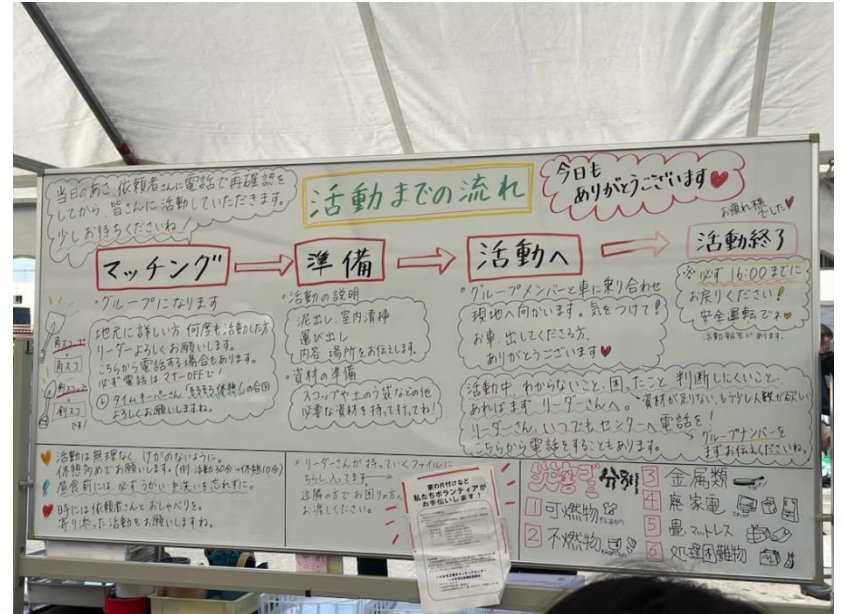
2023年9月29日(金)

会場:福島県いわき市災害ボランティアセンター

内容:災害ボランティア活動を通して、被災地の現状、活動までの手続き、ボランティアセンター運営等を学んだ

参加者:町田、ぽぽらサポーター1名、県民協働推進課職員1名

内容



(4) ネットワーク運営業務

<p>内容</p>	<p>⑧ 募金箱の設置 被災地支援・災害ボランティア支援として募金箱設置</p> <ul style="list-style-type: none">・2023年トルコシリア地震救援金 2,786円終了・令和5年台風2号災害静岡県義援金 2,453円終了・ボラサポ・令和5年石川県能登地震 3,286円終了・ボラサポ・令和5年台風2号 2,255円終了・ボラサポ・令和5年7月豪雨 4,124円終了・ボラサポ・令和5年台風13号 2,370円終了・ボラサポ・令和6年能登半島地震 募集受付中 <p>⑨ 災害に関する情報収集・発信 災害発生の都度、全国社会福祉協議会ホームページ等から情報を収集し、ぽぽらホームページやSNS,メールマガジン等により、適時適切に情報発信を行った。</p>	<p>内容</p>
-----------	--	-----------

(4) ネットワーク運営業務

4 関係機関の委員等への就任

No	月 日	内 容	主催者
1	2023年 5/15(月)	子ども食堂助成金審査会	栃木県子ども食堂ネットワーク
2	5/27(土)	鹿沼市市民協働モデル事業審査会	鹿沼市
3	6/26(月)	栃木県社会福祉協議会評議員会	栃木県社会福祉協議会
4	6/27(火)	とちぎ夢ファーレ実績報告会	栃木市
5	7/21(金) 9/1(木) 11/16(木)	ふくしのチカラ大賞表彰委員会	栃木県
6	8/7(月) 11/27(月)	宇都宮市民大学運営委員会	宇都宮市
7	8/23(水)	宇都宮市ふるさと納税を活用した公益活動支援事業審査会	宇都宮市
8	12/12(火)	花王ハートポケット倶楽部助成審査会	とちぎコミュニティ基金
9	12/13(水)	小山市市民活動センター運営調整会議	小山市
10	12/18(月)	栃木県社会福祉協議会活動計画推進委員会	栃木県社会福祉協議会

(4) ネットワーク運営業務

4 関係機関の委員等への就任

No	月 日	内 容	主催者
11	12/25(月)	みやシニア活動センターネットワーク会議	宇都宮市
12	12/13(水)	小山市市民活動センター運営調整会議	小山市
13	2024年 1/12(金)	第5回地域で輝くふくしのチカラ実践フォーラム 表彰委員会	栃木県
14	1/30(火)	とちぎ夢ファーレー次審査会	栃木市
15	2/13(火)	とちぎUIJターン促進協議会	栃木県
16	2/26(月) 3/11(月)	とちぎコープ助成金審査会、プレゼンテーション	とちぎコープ
17	3/8(金)	栃木県経済同友会表彰選考委員会	栃木県経済同友会
18	3/16(土)	とちぎ夢ファーレー次審査会	栃木市
19	3/25(月)	栃木県社会福祉協議会評議員会	栃木県社会福祉協議会

(5) 社会貢献活動「見える化」促進業務

(5) 社会貢献活動「見える化」促進業務

目的	潜在的参加者層に共感してもらうための団体のストーリー化」や、事業や会計などの透明化を図る「ガバナンス強化」により、信頼性の確保を図る。 また、市町市民活動支援センターや社会福祉協議会等と連携し、活動団体の情報を積極的に発信することで、次代の担い手育成・確保を目指す。	
内容	<p>I 社会貢献活動に関する情報発信チャンネルの拡大 1 NPOの発信力強化プロジェクト ①出前講座(アドバイザー派遣含む) ア シルバー大学校中央校 「市民活動と繋がろう」 日 時:2023年4月27日(木) 10:00-15:00 会 場:ぽ・ぽ・ら 参加者:18名</p> <p>イ 佐野市市民活動センター ここねっと 「事業報告・活動計算書の作り方」 日 時:2023年4月29日(土) 10:00~12:00 参加者:5名</p> <p>ウ 緑化ボランティア養成講座 「ボランティア活動を始めよう」 日 時:2023年6月14日(水) 9:30~12:00 会 場:宇都宮市中央生涯学習センター 参加者:9名</p>	内容 <p>エ 佐野市青少年研修会・ここっとゆーす 「ボランティアについて学ぼう」 日 時:2023年6月25日(日) 10:30~12:00 会 場:ぽ・ぽ・ら 参加者:33名</p> <p>オ 音訳ボランティアすまいる 「ZOOMの使い方」① 日 時:2023年6月30日(金)13:30~16:30 会 場:那須烏山市 保健福祉センター 参加者:7名</p> <p>カ 音訳ボランティアすまいる 「ZOOMの使い方」② 日 時:2023年7月21日(金)13:30~16:30 会 場:那須烏山市 烏山公民館 参加者:7名</p> <p>キ 足利市民活動センター 「NPOの運営」 日 時:2023年10月14日(土)13:00~15:00 参加者:1名</p>

(5) 社会貢献活動「見える化」促進業務

<p data-bbox="64 715 105 796">内容</p> <p data-bbox="151 158 953 419">ク 栃木県社会福祉士会 「NPO法人や一般社団法人、個人事業主でも活用できる助成金について」 日 時:2023年10月16日(月)19:00~21:00 会 場:福祉プラザ 参加者:8名</p> <p data-bbox="151 472 832 639">ケ 足利市民活動センター 「地域のつながり」 日 時:2023年11月11日(土)13:00~15:00 参加者:1名</p> <p data-bbox="151 692 861 905">コ 宇都宮市東生涯学習センター文化祭 「ボランティア入門~新聞エコバッグづくり」 日 時:2023年10月28日(土)10:30~15:00 会 場:宇都宮市東生涯学習センター 参加者:20名</p> <p data-bbox="151 958 721 1128">サ 白鷗大学地域福祉論 日 時:11月16日(木)10:30~12:00 会 場:白鷗大学本キャンパス 参加者:150名</p> <p data-bbox="151 1180 843 1350">シ ここねっと NPO入門講座 日 時:12月16日(土)10:00~12:00 会 場:佐野市市民活動センターここねっと 参加者:12名</p>	<p data-bbox="1079 739 1120 821">内容</p> <p data-bbox="1158 158 2009 772">ス NPO等へのアドバイザー派遣の実施 テーマ:新たに立ち上げる法人後見事業への助言 日 時:2023年6月14日(水)14:00~15:30 会 場:栃木ひまわり法律事務所(宇都宮市) 参加者:NPO法人ふれあい2名、ぽぽら1名 アドバイザー:山下雄大弁護士 内 容:後見人は、社協、親族、専門職(社会福祉士、弁護士、司法書士等)が裁判所から選定される。他に市民後見人制度があるが、県内では栃木市1人のみ。裁判所はかなり厳格であり、法人後見事業を認めるようになるまで相当時間を要すると思われるとのことで、法人においては、時間をかけて検討していくこととなった。</p> <p data-bbox="1158 825 1773 862">② 「ICT 活用・DX 推進調査」の実施</p> <p data-bbox="1158 868 1514 905">ア 第9回わくわく会議 日 時:2023年6月1日(木)15:00~17:00 会 場:オンライン(zoom) 内 容:表記会議において分科会の一つを充てていただき、事例や情報の交換を行った。</p> <p data-bbox="1158 915 1997 1396">※わくわく会議とは NPO・市民活動支援の担い手が、地域や立場の垣根をこえて情報交流することを通して社会ニーズや共通課題に対するアクション、市民セクターのボトムアップを図ることを目的に、『NPO・市民活動支援共有ミーティング:通称「わくわく会議」(仮称)』を2021年12月からスタートした。</p>
--	---

(5) 社会貢献活動「見える化」促進業務

<p>イ 淡海ネットワークセンターとの意見交換会 日時:2023年5月25日(木)13:30~15:30 会場:オンライン(Zoom使用) 内容:双方の施設・事業紹介、市町支援センターとの連携・支援体制、市民活動に関わる人材育成等の意見交換を行った。</p> <p>2 市民活動支援センターにおけるICT活用支援の先進事例調査・情報共有 ①群馬県NPOサロンぐんまとの情報交換会 日時:2023年9月28日(木)15:00~16:30 会場:オンライン(zoom) 内容:事業の実施体制や、ワークスペース「ネツゲン」、社会貢献活動団体等の動向等の情報交換を行った。 ②北関東3県オンライン意見交換 日時:2024年3月14日(木)13:30~ 会場:オンライン(zoom) 内容:茨城、栃木、群馬三県の市民活動支援組織が参加し、前半はコモンズからの情報提供として、『茨城県内市民活動支援組織実態調査』及び『茨城県内市民活動団体実態調査』で見えてきたこと」の報告がなされ、後半は人材の確保や教育、他団体とのネットワークづくり、利用者拡充のための工夫をテーマにグループ協議を行った。</p> <p>3 社会福祉協議会・公民館等と連携した社会貢献活動の情報発信 県内の社会福祉協議会や公民館等と連携し、活動団</p>	<p>体や事業の情報収集を行い、発信することで、社会貢献活動の「見える化」を促進していく。</p> <p>①ぽ・ぽ・ら情報誌の発送 社会福祉協議会(44)や公民館(171)あてに発送</p> <p>②出前講座の実施(再掲) 公民館(2)からの依頼に応じ、出前講座を実施した。</p> <p>II NPO・社会貢献活動への共感の獲得、信頼性の向上 1 ぽ・ぽ・ら講座の実施 NPO等の活動の「見える化」・ストーリー化の支援、健全な団体運営(ガバナンスの向上)による信頼・共感の確保のため、多様な講座を実施した。</p> <p>①楽しく学ぶ会計マスター！ 初心者向けNPO会計入門講座 日時:2023年7月27日(木)13:30~15:30 会場:とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら 参加者:21名 内容:NPO会計の基礎、日常業務で行うこと、帳簿を付けてみよう 参加者の感想等: ・NPO法人の実勢の会計処理の流れが分かり、今後NPOから提出された事業報告書をチェックする際にも役立つと感じた。 ・R4年より会計事務を任され、よくわからず、前年の書類の真似をしていたのだが、理解することができた。</p>
--	--

(5) 社会貢献活動「見える化」促進業務

②～活動の見える化・ストーリー化で～

NPOの「ファン獲得」連続講座

講師：公益財団法人日本非営利組織評価センター
業務執行理事 山田 泰久 氏

第1回 「ミッションビジョンを言語化してみよう」

・伝えるコツを学ぼう

日時：2023年7月22日(土)13:30～16:30

会場：とちぎボランティアNPOセンター

参加者：13名

内容：「NPOの情報発信から学ぶ」「情報発信を軸に〇〇を考える」をポイントに講義、ワークショップを行った。良い団体とは、良い活動と良い情報発信をしている団体＝活動団体であると同時に「地域メディア」である。NPOの活動は「可視化」しないとなかなか理解が得られないことや、活動の「価値化」のためにミッションビジョンを言語化することが重要。

内容



第2回 「情報発信について学ぼう」

・チラシ、SNSについて学ぼう！

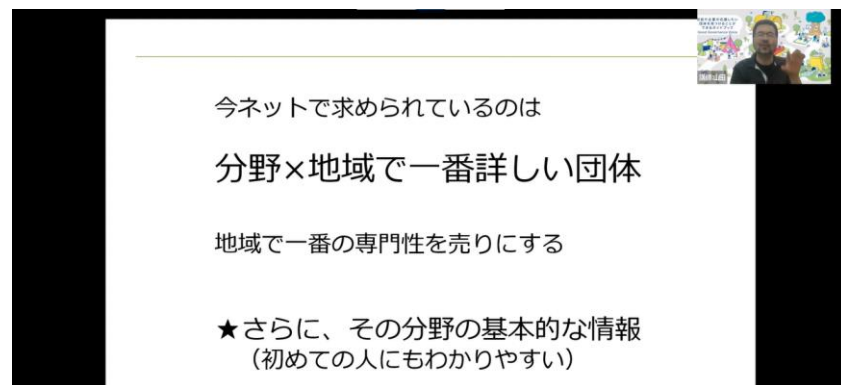
日時：2023年8月3日(木)18:00～20:00

会場：オンライン(ZOOM)

参加者：17名

内容：NPOのWeb系発信の整理として、「ストック」「フロー」「共感」「信用」の要素に分けて考える。ターゲットを絞ることや、キーワードとなる情報を盛り込むことなど、相手から検索してもらえることを意識する。「分野×地域で一番詳しい団体」になる。

内容



第3回 「信頼される組織運営」

・どのような組織が信頼されるか考えよう

日時：2023年8月24日(木)18:00～20:00

会場：オンライン(ZOOM)

参加者：7名

内容：NPOの信頼性を高めるために、組織運営の健全性(ガバナンス)が必要。NPOの信頼とは、お金や時間、モノ、思いなどを「託す」ことができるか？

(5) 社会貢献活動「見える化」促進業務

NPO法人に対する寄付

特定非営利活動法人に関する世論調査
平成30年(2018年)10月調査

「寄附したい団体
(複数回答)」
NPO法人 7.0%
公益法人 3.2%



第4回「支援を集めよう！」

- ・資金調達について考えよう
- ・応援される組織とは

日時:2023年9月16日(土)13:30~16:30

会場:ぽ・ぽ・ら(講師はオンライン)

参加者:13名

内容:NPO/市民活動の資金調達について、前半は助成金、後半は寄付についての講義とワークショップ。
助成金の活用にあたっては、成果をリターンできること＝持続的に事業や組織を発展させていくことを意識する。ドナー(支援者)にとって寄付する組織が信頼できるかが一番重要。

クイズ:寄付と助成金

あるプロジェクトの活動資金として、100万円がほしい。
あなたの団体はどの方法で資金調達したいですか？

- A. 100名の市民から、一人1万円の寄付で計100万円
- B. 助成金で100万円

③助成金合同説明会2023

日時:10月4日(水)13:00~16:30

会場:ぽ・ぽ・ら、オンライン(zoom)

サテライト会場:さくら市市民活動センター

真岡市市民活動推進センター

小山市市民活動センター

参加者:45団体49名

主催:宇都宮市まちづくりセンターとの共催

内容:助成プログラムを持つ団体から内容の説明と申請するにあたっての質疑応答を行った。

とちぎコープ生活協同組合

日本郵便株式会社

中央労働金庫

栃木県共同募金会

とちぎコミュニティ基金

④伝える事業報告書の作り方

日時:2024年2月24日(土)13:00~16:30

会場:ぽ・ぽ・ら、オンライン

参加者:11名

内容:事業報告書の目的、総会、事業報告書の作り方、事業費と管理費について、役員変更の登記等

・講座終了後に個別相談を実施した。

内容

内容

(5) 社会貢献活動「見える化」促進業務

2 ボランティアとNPOの展望を語る座談会(ぽぽら20周年・NPO法施行25周年記念)

2 NPO法施行25周年・ぽぽら開館20周年記念 「ボランティアとNPOの展望を語る座談会」

本年は、NPO法(特定非営利活動促進法)施行から25周年、とちぎボランティアNPOセンター「ぽ・ぽ・ら」開館から20周年となる。そこで、多様な社会貢献活動に携わる人々が一堂に会して、これまでの歩みを振り返るとともに、将来を展望して自由に語り合うことにより、今後の活動に活かしてもらうこととした。

1 テーマ

多様な主体との協働によるこれからの栃木
～つながりを紡ぎ 地域を未来に拓く～

2 内容

(1)日 時:2023年11月12日(日)

13:30～15:10 記念講演、15:20～16:40 座談会

(2)会 場:ぽ・ぽ・ら3階 研修室A・B

(3)登壇者

①記念講演講師

永井美佳氏(大阪ボランティア協会常務理事・事務局長)

②座談会

○コーディネーター:永井美佳氏(記念講演講師)

○登壇者

・石河不砂氏(認定NPO法人蔵の街たんぽぽの会理事長)

・名村史絵氏(三信電工株式会社 代表取締役、栃木県
経済同友会 社会貢献活動推進委員会委員長)

・鈴木廣志氏(文部科学省CSマイスター・元大平
中央小学校校長)

・ぽ・ぽ・ら:町田センター長

(4)参加者:36名




内容



内容

(6) 地域協働促進業務

(6) 地域協働促進業務

<p>目的</p>	<p>地域には多様な問題が山積しているが、多様な主体（行政や企業、NPO、地縁団体等）が協働して取り組むことで、難関を乗り越えることも可能となる。地域における「協働」には、①お互いを知り信頼できること。そのためには、相互の情報を知ることができること。②相互に自由に意見交換できる場があること。などが重要である。そこで、協働を促進するための情報発信の強化や連携交流協働の場づくりを推進する。</p>	
<p>内容</p>	<p>①「協働」促進のための情報収集・発信 市町市民活動支援センターや社会福祉協議会、公民館等と連携し、優れたNPO活動の情報共有や協働のきっかけづくりとして「輝くとちぎの社会貢献活動デジタルブック」を作成する。 当法人のノウハウを活かし、「企業編」、「地域コミュニティ編」も併せて作成する。 平成26年度に発行した「NPOと企業の協働カタログ」の構成を念頭に、紙面、掲載団体等の検討中。</p> <p>②連携交流の場づくり事業(交流会) ゆるつな交流サロンin足利 ～ゆるくつながって新しい何かを生み出そう～ 市町市民活動支援センターと連携し、NPOや企業、地縁団体などをメンバーとする、協働のきっかけづくりの「交流会」を開催した。 日 時: 2024年2月18日(日) 13:30～16:00 会 場: 足利市生涯学習センター3階 オープンスペース</p>	<p>事例発表者</p> <ul style="list-style-type: none">・特定非営利活動法人フードバンクあしかが 高沢友佳里氏、吉田永理子氏・(一社)からりこ舎 木村沙和氏、秋山加奈子氏・ウエルシア薬局株式会社 橋本充弘氏 <p>参加者: 25名 共 催: ぽ・ぽ・ら、足利市民活動センター、足利市、栃木県</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none">・3事例が多彩な内容で、参加者にも好評だった。・意欲的な参加者が多く、特に交流会では、各グループとも熱量が上がっていた。・参加者からは、「自分が一歩踏み出す機会を得られた」「早速フードドライブを始めたい」などの反応もあり、協働のきっかけづくりに効果的だった。・四者共催で、企画段階から当日の運営まで連携して進めることが出来た。 

(6) 地域協働促進業務

内容

③地域助け合い事業と連携したセミナーの開催 (再掲)

若者と高齢者や地域福祉関係者との交流を通して、地域や若者にどのような変化があり、どのような行動に繋がったのか、若者と共に地域づくりを考えた。

・日 時:2023年10月19日(木)18:00~20:00

・会 場:ぽ・ぽ・ら

【コーディネーター】

・NPO法人とちぎ協働デザインリーグ
副理事長 廣瀬 隆人氏

【事例発表者】

- ・大田原市川西地区:地域コーディネーター
郡司 照江氏、参加学生
- ・日光市大沢地区:地域コーディネーター
五十嵐 至子氏、大沢青年団、参加学生



内容

④寄付文化の醸成のための活動への協力 ア とちぎコミュニティ基金(事業協力)

がんばるNPOと支援者をつなぐため、「寄附の窓口」と「NPOによる情報公開の促進」の2つの機能を持ち、「民が民を支える仕組み」づくりを行う事業に実施協力した。

・花王ハートポケット倶楽部審査会

日 時:2023年12月12日(火)

活動分野を問わず栃木県全域で「心温まる活動」「地域で必要とされる活動」を助成。申込14団体から次の4団体を選出した。

- ・子育てほっとネット、空き家の友、
鹿沼自然エネルギー推進会、とちぎ多胎ネット

イ 寄付月間(アンバサダー)活動

寄付月間アンバサダーに就任し、全国のアンバサダー、パートナー等と寄付文化醸成のため12月に活動した。募金コーナー前に大判ポスターを展示し、オンライン会議で個人の壁紙に寄付月間の画像を利用した。

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。



2 NPO法人 とちぎ協働デザインリーグ事業

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

1 NPOを活用した地域コミュニティ助け合い機能強化事業(新規)

地域における助け合い活動参加者の裾野拡大を図るとともに、地域のつながりづくりを通して住民が抱える生活課題の共有・見える化・担い手との結びつけを図った。

- (1)コミュニティの助け合い活性化による困りごとの解決
- (2)地域に関わる若者・高齢者等の拡大と活動を通じた生きがいの創出

○事業のねらい

- (1)若者と高齢者の継続的な関係づくりをもとにした地域共生社会の形成
- (2)地域福祉の担い手育成と若者と高齢者、地域住民の継続的な関係づくり
- (3)若者の社会参加経験を蓄積し、キャリア形成に寄与する。(ガクチカ)
- (4)若者をサポートする地域住民による担い手の継続的育成と支援
- (5)地域が人のつながりでできていることを自覚し、そのつながりを形成する。

①地域福祉の担い手育成つなぎますプロジェクト

大田原市川西地区・日光市大沢地区の二か所で高齢者と若者の交流を通して、「昔の話を聞く」「困りごとを聞く」「遊びに行く」などの関係づくりを行った。

期間:2023年4月~2023年8月

プロジェクトリーダー:廣瀬隆人

ア 川西地区

- ・コーディネーター:見守隊主任 郡司照江氏
白井 茜氏
- ・大田原市社会福祉協議会黒羽支所 清水氏
- ・協力:築地カフェ、PPKKの会、より愛ひろば、ジャガイモ仲間の会、桜木沢カフェ、下町2区カフェ、わらぼっちの多賀

イ 大沢地区

- ・コーディネーター:八日市公民館長 五十嵐至子氏
- ・大沢青年団:金子泰憲氏、篠原景子氏、手塚 歩氏
- ・協力:高峰会
- ・事務局:遠藤優美氏
- ・若者参加者:延べ104名



NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

内容

②先行地域調査研究プロジェクト

小山市豊田地区(市街地)

市街地にも関わらず住民の団結が強い地域であり、互助機能が歴史的に形成されている地域を丁寧な聴き取り調査による地域づくり機能充実の要因を探り、そこから抽出されるノウハウを理論として、地域づくりの担い手育成のノウハウを抽出した。

2 コーディネーション力強化

企業や市民からの相談・要望等に対して、適切にコーディネートを行うため、分野ごとの団体情報を収集し、年次的に整理していく。(2022~2023年度:自然環境活動)

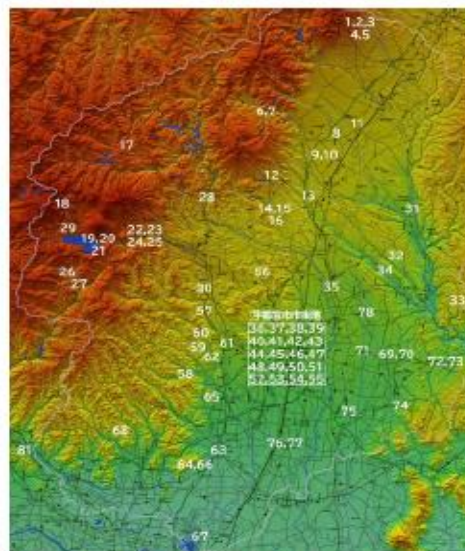
【進捗】

栃木県域82団体の情報情報を収集し、「とちぎ自然環境活動団体82マガジン」A5/フルカラー/78Pの冊子を編集。初版4000部を発行し県内小中学校、高校、大学、公民館、企業団体、行政機関、図書館、活動団体等に配布すると同時にホームページ公開し、環境らしんばん・メディア・CANPAN・イベントなどで情報を拡散した。

【予定と課題】

- ・さらなる情報拡散による、プラットフォームとしての役割拡大と、環境分野としての今後の取り組みの模索。
- ・次の分野の取り組み検討。

内容



とちぎ自然環境活動団体82マガジン

こんなにたくさんとちぎの自然!!

活動地域・内容・参加方法・連絡先・QRコードなど情報満載

企画・編集・発行 NPO法人とちぎ協働デザインリーグ
〒320-0032 栃木県宇都宮市坂本2-2-1
とちぎボランティアNPOセンター内MB35
電話 070-4288-7400 FAX 028-333-1343

1 自然環境	21 自然環境	31 自然環境	41 自然環境
2 自然環境	22 自然環境	32 自然環境	42 自然環境
3 自然環境	23 自然環境	33 自然環境	43 自然環境
4 自然環境	24 自然環境	34 自然環境	44 自然環境
5 自然環境	25 自然環境	35 自然環境	45 自然環境
6 自然環境	26 自然環境	36 自然環境	46 自然環境
7 自然環境	27 自然環境	37 自然環境	47 自然環境
8 自然環境	28 自然環境	38 自然環境	48 自然環境
9 自然環境	29 自然環境	39 自然環境	49 自然環境
10 自然環境	30 自然環境	40 自然環境	50 自然環境
11 自然環境	31 自然環境	41 自然環境	51 自然環境
12 自然環境	32 自然環境	42 自然環境	52 自然環境
13 自然環境	33 自然環境	43 自然環境	53 自然環境
14 自然環境	34 自然環境	44 自然環境	54 自然環境
15 自然環境	35 自然環境	45 自然環境	55 自然環境
16 自然環境	36 自然環境	46 自然環境	56 自然環境
17 自然環境	37 自然環境	47 自然環境	57 自然環境
18 自然環境	38 自然環境	48 自然環境	58 自然環境
19 自然環境	39 自然環境	49 自然環境	59 自然環境
20 自然環境	40 自然環境	50 自然環境	60 自然環境
21 自然環境	41 自然環境	51 自然環境	61 自然環境
22 自然環境	42 自然環境	52 自然環境	62 自然環境
23 自然環境	43 自然環境	53 自然環境	63 自然環境
24 自然環境	44 自然環境	54 自然環境	64 自然環境
25 自然環境	45 自然環境	55 自然環境	65 自然環境
26 自然環境	46 自然環境	56 自然環境	66 自然環境
27 自然環境	47 自然環境	57 自然環境	67 自然環境
28 自然環境	48 自然環境	58 自然環境	68 自然環境
29 自然環境	49 自然環境	59 自然環境	69 自然環境
30 自然環境	50 自然環境	60 自然環境	70 自然環境
31 自然環境	51 自然環境	61 自然環境	71 自然環境
32 自然環境	52 自然環境	62 自然環境	72 自然環境
33 自然環境	53 自然環境	63 自然環境	73 自然環境
34 自然環境	54 自然環境	64 自然環境	74 自然環境
35 自然環境	55 自然環境	65 自然環境	75 自然環境
36 自然環境	56 自然環境	66 自然環境	76 自然環境
37 自然環境	57 自然環境	67 自然環境	77 自然環境
38 自然環境	58 自然環境	68 自然環境	78 自然環境
39 自然環境	59 自然環境	69 自然環境	79 自然環境
40 自然環境	60 自然環境	70 自然環境	80 自然環境
41 自然環境	61 自然環境	71 自然環境	81 自然環境
42 自然環境	62 自然環境	72 自然環境	82 自然環境

本誌は自然環境活動団体の情報支援を通じて、将来世代に美しい環境を引き継ぐ持続可能な社会の実現への奇与を目指して、小・中学校、公民館、図書館等に無償配布しておりまして、ご支援を賜りさらなる増刷・配布を行いたいと考えております。ご支援は本誌を購入いただく形態で、1冊 600円、2冊より1冊あたり500円(送料込)以上を目安にお振込みください。

郵便振替口座 00110-9-265575

NPO 法人とちぎ協働デザインリーグ

通信欄に、住所・氏名・電話番号・冊数を記入ください。

※恐縮ですが、振込手数料のご負担を御願い致します。

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

3 社会教育主事講習連携事業

宇都宮大学が実施している社会教育主事(以下「社教主事」)講習において、社会教育演習で「自治会の役員に聞き取り調査を行い、地域ごとの取組の現状への理解を深め、現状レポートとしてまとめる研修」が行われる。

この実施にあたってNPO法人とちぎ協働デザインリーグ(以下「リーグ」)あてに協力要請が来たため、リーグとしては、市町市民活動支援センター(以下「市町センター」と社教主事との連携のきっかけづくりに資するものであることや地縁型活動への知見を深めることができることから、市町センター等と連携し、協力した。

文部科学省主催、宇都宮大学実施の社会教育主事講習(7月24日(月)～(8月18日(金))のうち8月9日、10日に実施した、自治会役員への聞き取り調査に係る、市町センターへの協力依頼から当日の実施に係る部分を大学・市町センターと協力して実施した。

- ・日 時:2023年8月9日(水)・10日(木)8:40～17:30
- ・会 場:宇都宮大学及び市町センター
- ・協力センター:足利市民活動センター、日光市市民活動センター、真岡市市民活動推進センター、栃木市民活動推進センター、さくら市市民活動センター、那須塩原市市民活動センター、他協力者2名
- ・8月9日AM:聞き取り方法・まとめ方等についての学習
PM:県内各センター(概ね教育事務所単位)での聞き取り調査・演習のフォロー
- ・8月10日AM:聞き取り内容のまとめのフォロー
PM:まとめの発表の進行、コメントなど

内
容

聞き取りの様子



発表の様子



NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

4 NPO事務力検定の実施

全国NPO事務支援カンファレンス主催の事務力検定について、栃木県での受験が可能となるようにNPO法人宇都宮まちづくり市民工房と共催実施予定であったが、一斉の検定日と、会場との折り合いがつかず、本年は実施を断念した。

5 とちぎコミュニティ基金(事業協力)

がんばるNPOと支援者をつなぐため、「寄附の窓口」と「NPOによる情報公開の促進」の2つの機能を持ち、「民が民を支える仕組み」づくりを行う事業に実施協力した。

- ・冠ファンド助成「花王ハートポケット倶楽部地域助成(栃木地区)」の実施
- ・冠ファンド助成「たかはらこども未来基金」の実施

6 トヨタモビリティ基金実証実験への協力

トヨタモビリティ基金が実施する「誰もが楽しめるモータースポーツ観戦のソリューションを。もてぎサーキットでの実証【障がいのある方もレースを楽しめる実証実験】」に、NPO法人岡山NPOセンターの呼び掛けに応じて協力した。

日 時: 2023年9月2日(土)・3日(日)

会 場: もてぎサーキット

内 容: 実証実験に参加する当事者団体のコーディネート及び、当日のボランティアコーディネート

内容



内容

7 寄付月間アンバサダーへの就任

寄付月間アンバサダーに就任し、全国のアンバサダー、パートナー等と寄付文化醸成のための広報を行った。

8 講師派遣

リーグ役職員の知識やノウハウを活かし、要望に応じて講師派遣を行った。

※再掲: ぽ・ぽ・ら出前講座

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

<p>9 情報発信 リーグホームページやブログ、フェイスブックの運用及び「リーグファイル」を作成し、調査研究等で得た情報を提供する。 ・「とちぎ自然環境活動団体82マガジン」をリーグホームページに掲載し、広く広報している。</p> <p>10 職員研修 スタッフの資質向上を図るため、各種研修等に積極的に参加する。</p> <p>①まちづくり勉強会の実施 小さな拠点、地域運営組織などのまちづくりに関わる施策や、事例・実態について、各回テーマをもとに自由な意見交換を行った。</p> <p>①日時：2023年8月18日(金)18:00～20:00 場所：とちぎボランティアNPOセンター 内容：三橋理事長より、小さな拠点と地域運営組織の解説 参加者：理事スタッフ等7名</p> <p>②日時：2023年10月6日(金)18:20～20:20 場所：とちぎボランティアNPOセンター 内容：廣瀬副理事長より「NPO法人きらりよしじまネットワーク」について 参加者：理事スタッフ栃木県庁職員等12名</p> <p>プレ回：2023年7月6日(木)19:00～21:00 内 容：小さな拠点等の問題提起、意見交換</p>	<p>11 法人運営</p> <p>(1) 常任理事会の開催 2023年5月23日(火)、6月15日(木)、7月6日(木)、8月18日(金)、2024年2月29日(木)</p> <p>(2) 監事の監査 2023年6月15日(木)</p> <p>(3) 理事会・総会の開催</p> <p>①第1回理事会・総会 2023年6月21日(水) ・2022年度事業報告・決算報告 ・2023年度事業計画(案)・活動予算書(案)</p> <p>②第2回理事会 2023年10月24日(火) ・2023年度上期事業報告・下期事業計画(案)</p> <p>③第3回理事会 2024年3月26日(火) ・2024年度事業計画(案)・予算(案)</p>
---	--